

研修会名	2024年度アディクション心理臨床研修会 ネット依存とゲーム障害～支援者としてどう向き合うか～		
主催	一般社団法人北海道臨床心理士会 医療保健領域委員会		
企画主旨	<p>アディクションの問題は、医療保健、教育、福祉、産業労働、司法犯罪など、公認心理師・臨床心理士が携わる多岐にわたる領域において、様々な形であらわれてきます。個々の問題に丁寧に向き合い、問題の背景にあるアディクションの問題に早め気づきアセスメントをできること、適切に対処できることが、我々公認心理師・臨床心理士に求められます。</p> <p>前半は、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野教授の神田秀幸先生より、依存症とはなにか、なぜ人は依存症になるのか等、依存症についての基本的な知識を学び、またその中でも近年、不登校やひきこもりなどで問題となっている、ネット依存やゲーム障害について、最近の現状や治療について解説いただきます。さらに、神田先生は岡山共生高校でeスポーツ部のチームドクターも務められているため、実際のeスポーツ部での取り組みや生徒たちの様子なども含めてご紹介いただきます。何時間もゲームに取り組んでいる部員たちはなぜゲーム障害にならずにeスポーツ部で活躍できているのか、その秘訣について学ぶことは依存症について理解を深め、公認心理師・臨床心理士としてどのように関わるかの指針になります。</p> <p>後半は手稲溪仁会病院精神保健科部長の白坂知彦先生より、「ネット・ゲーム障害外来」での実際の取り組みからお話いただきます。ネットやゲーム障害で来院する患者をどのようにアセスメントしているのかを学び、顕在化しているネットやゲーム問題のみならず、潜在化している家族全体の関係性をも俯瞰した関わり方のコツを、ケースを通した演習の中で参加者とともに検討し、公認心理師・臨床心理士として身につけておくべき関わり方の基本について学ぶことを目的とします。</p>		
開催日	2025年2月1日土曜日	時間	開始:13:30～ 終了:16:00 計2 時間30分
形式	ハイブリット： 現地＋オンライ(ZOOM)	定員	現地: 100 名, オンライン(ZOOM): 298 名
現地会場	現地:医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 溪仁会ビル2F 201・202 (札幌市手稲区前田1条12丁目2)		
対象者	公認心理師・臨床心理士・その他の守秘義務のある専門職・公認心理師および臨床心理士養成校の大学院生		
参加費	● 一般社団法人北海道臨床心理士会会員 : 2300円 (Peatix手数料を含む) ● 非会員 : 3300円 (Peatix手数料を含む) ● 大学院生: 1200円 (Peatix手数料を含む)		
研修単位	日本公認心理師協会 テーマ別研修「分野共通」2.5単位で登録申請中		
【プログラム】			
	司会	常田 深雪 (医療保健領域委員・ 医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 精神保健科主任 臨床心理士 公認心理師)	
13:30～14:40 (70分)	講義	【テーマ】ネット依存とゲーム障害 【講師】神田 秀幸 先生 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野教授)	
14: 40 ～15 :40 (講義45分演習15分)	講義/ 演習	【テーマ】ネット依存とゲーム障害への関わり方のコツ 【講師】白坂 知彦 先生(医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 精神保健科部長)	
15:40～ 16:00 (20分)	質疑応答	【講師】神田 秀幸 先生・白坂 知彦 先生	

注) 本研修は、公益社団法人日本公認心理師協会の専門認定制度における「テーマ別研修」登録申請中です

【お問い合わせ先】 一般社団法人 北海道臨床心理士会 医療・保健領域委員会
医療・保健領域担当理事 近藤 陽子 cpkondo1964@gmail.com